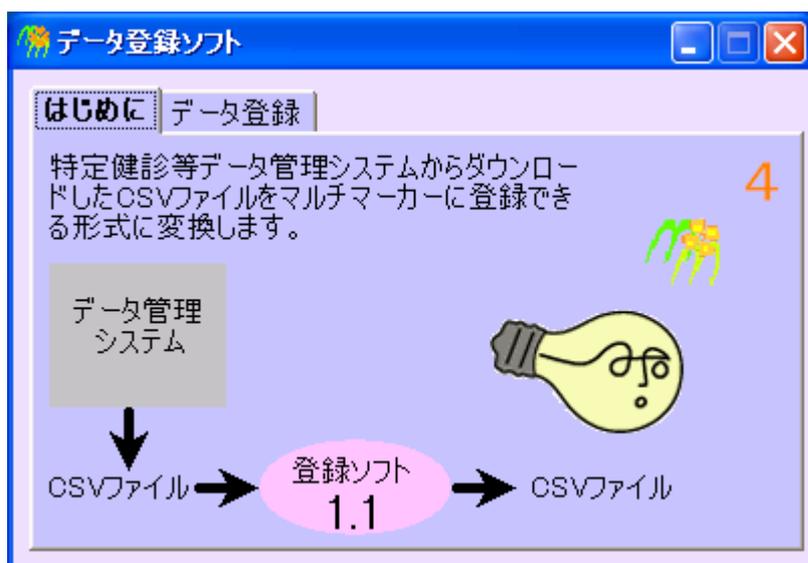


マルチマーカーパーソナル版 4.0

データ登録ソフトを使ってみよう

(ステップ1.1 a) HbA1c(NGSP)対応

2013年6月



1. ご利用の前に	2
2. ソフトの説明	3
3. 準備するもの	4
4. 使い方	9
4.1. メイン画面	9
4.2. CSV ファイルの読み込み画面	10
健診結果を読み込む画面	10
健診受診者を読み込む画面	11
氏名と住所ファイルを読み込む画面	12
4.3. データの確認画面	13
4.4. 「横並び設定」画面	14
4.5. CSV 出力画面	21
5. 登録用 CSV ファイルの形式	22
6. 今後の計画及び改訂履歴	30

1. ご利用の前に



データ登録ソフト(ステップ1. 1)は**2010年6月以前**にダウンロードした CSV ファイルを読み込むことはできません。2010年6月以前の CSV ファイルを扱いたいときは、データ登録ソフト(ステップ1. 0)を御利用ください。

※本ソフトはマルチマーカーパーソナル版 4.0 対応ソフトです。

マルチマーカーパーソナル版 3.1 対応ソフトと同等です。



以前の版を利用されていた方へ(ここが変わりました)。

説明	ページ数
2010年7月に特定健診等データ管理システムのファイル形式が変わったのに対応しました。	5 ページ
TKAB051、TKAB061の CSV ファイルの「公印区分」列に空白データがあっても、読み込みエラーにならないようになりました。	—
氏名、住所のデータを別途読み込みできるようになりました。氏名に含まれる外字が「●」になっているのを補完できます。	6 ページ

お願い

データ管理システムからダウンロードできる CSV ファイルについてはソフトを作るための情報が不足しています。

- 「この CSV ファイルには住所が入っている」
- 「この CSV ファイルを使えば利用券整理番号を読み込みできる」

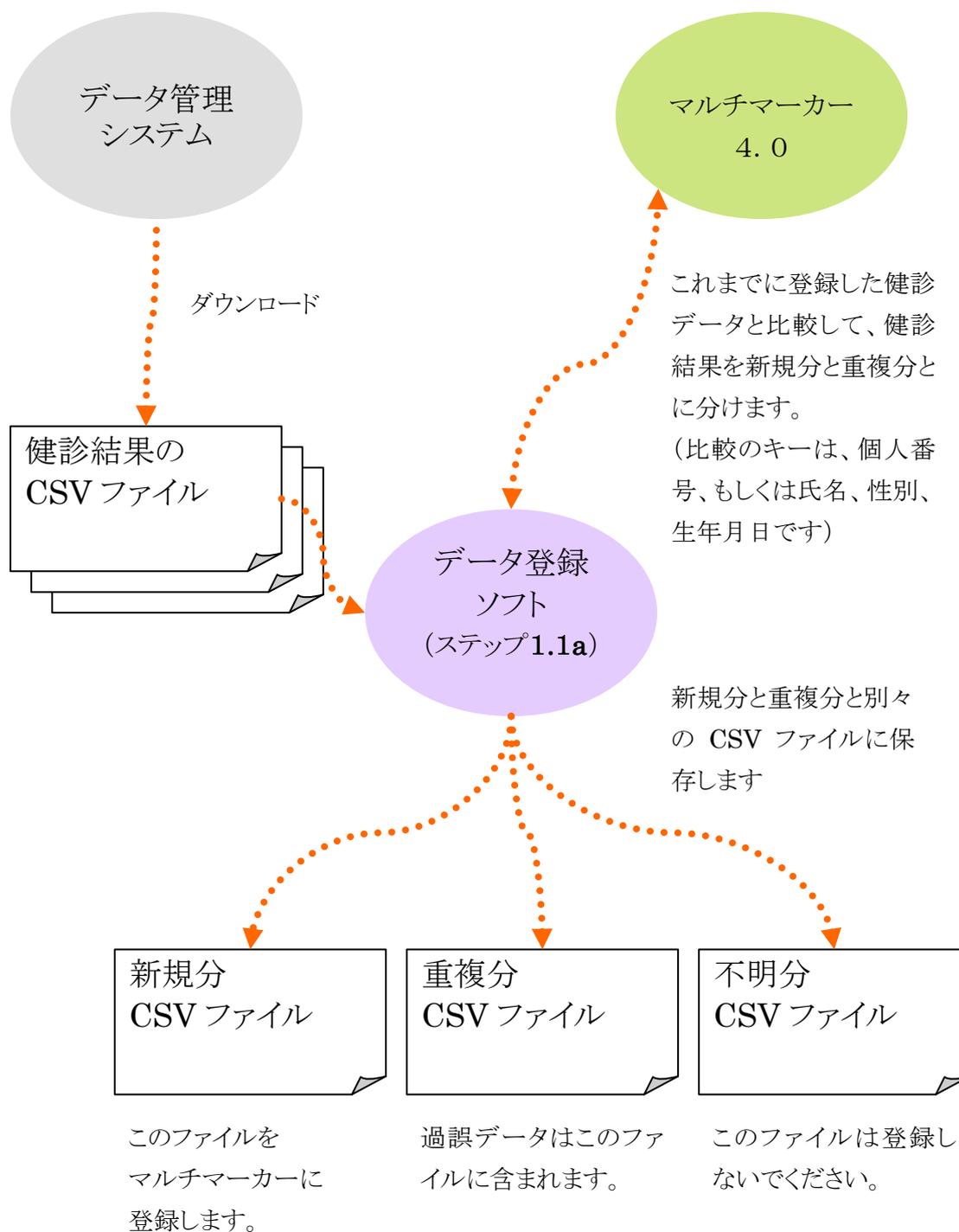
など、ぜひお知らせください。

特に下記のファイルについては住所のデータが入っているようなのですが詳細が不明です。情報をお持ちの方がおられましたらお知らせください。

- TKAB002 受診券発行者リスト
- TKBB002 利用券発行者リスト

2. ソフトの説明

データ登録ソフト(ステップ 1.0)は、特定健診等データ管理システムからダウンロードした健診結果の CSV ファイルを読み込み、マルチマーカに登録できる形の CSV ファイルに変換して保存するサポートソフトです。



3. 準備するもの

ソフトを動かす前に、データ管理システムからCSVファイルをダウンロードします。本ソフトが読み込みするCSVファイルは以下の7種類です。

識別子	タイトル	データ
FKAC131	特定健診受診者CSVファイル	氏名など
FKAC163	特定健診結果等情報作成抽出(健診結果情報)ファイル	健診結果(腹囲など)
FKAC164	特定健診結果等情報作成抽出(その他の結果情報)ファイル	健診結果(クレアチニンなど)
TKAB051	受診券発行対象者抽出ファイル	住所
TKAB061	受診券発行対象者(途中加入者)抽出ファイル	住所



FKAC131 と FKAC163 のファイルは**必ず必要**です。FKAC164 ファイルは、クレアチニンや尿酸などを健診で測定している場合は必要です。TKAB051 と TKAB061 ファイルが無くてもソフトは動きますが、住所は保存されません。

具体的なファイル名は、たとえば以下ようになります。

- 00990999_FKAC131_20080527213106_1.csv
- 00990999_FKAC163_20080527213106_1.csv
- 00990999_FKAC164_20080527213106_1.csv
- 00990999_TKAB051_20080527213106_1.csv
- 00990999_TKAB061_20080527213106_1.csv

FKAC161、FKAC162ファイルはステップ1. 1から不要になりました。また、有効期限の取得はできなくなりました。



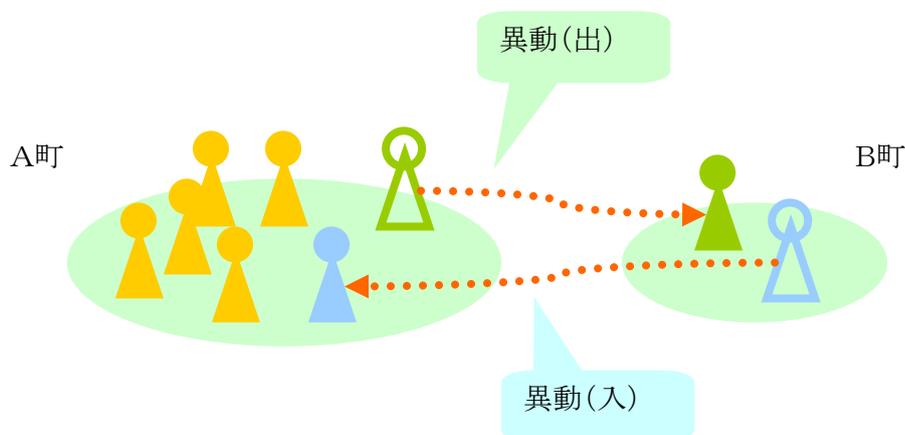
CSV ファイルをエクセルで開くときは

CSV ファイルをエクセルで開いて保存すると、「0」で始まる数字のデータは頭の「0」が削除されて保存されます。たとえば、「00123456」は「123456」とエクセルが変更します。上記の CSV ファイルの中には保険者番号や利用券整理番号などの「0」で始まる数字が入っていますので、エクセルで開くときはご注意ください。

CSVファイルの形式変更について(2010年7月)

2010年6月末にデータ管理システムが変更され、健診後に異動してきた人、異動して行った人のデータもダウンロードできるようになりました。それにもない、FKAC16シリーズのファイル形式も変わりました。

たとえば、A町でデータ管理システムからFKAC163ファイルをダウンロードしたとき、2010年7月以前と以後とでは下表のような違いがあります。



異動の種類	変更前(～2010年6月)	変更後(2010年7月～)
異動の無い人	ダウンロード可能。	同左。
異動して来た人	ダウンロードできない(CSVファイルにデータが含まれない)。	ダウンロード可能となった。
異動して行った人		



データ管理システムの変更内容に関する資料には、FKAC131ファイルを変更したという記載がありません。もし、FKAC131ファイルが従来のものであるとしたら、異動してきた人、異動して行った人のデータはFKAC131ファイルには含まれていないことになるので、残念ながら氏名や生年月日などのデータは空白になります(下図のように)。

データ登録ソフト

データの確認 団体名: _____

0.41 秒かかりました。4件のデータになりました。

データ管理番号	氏名カナ	氏名漢字	性別	生年月日	年齢	行政区名称	地区名称
1	1001	ソトヤマイチタロウ	山一太郎	男	1955/06/06	53	行政区名称 地区名称
2	1002						
3	1003						
4	1004						

利用者が作成する CSV ファイル

ステップ1. 1からは氏名と住所のデータを別途読み込みできるようになりました。ダウンロードした CSV ファイルでは氏名と住所に含まれる外字は「●」で保存されていますが、これらを元の外字に置き換えることができます(たとえば、「●山●太郎」を 山太郎 に)。

識別子	説明	データ
氏名と住所	氏名と住所のデータを別途読み込みします。	氏名と住所



氏名と住所ファイルは必ず必要なファイルではありません。必要に応じて作成して読み込みしてください。氏名と住所ファイルが無くても、データ登録ソフトは動きます。

(氏名の外字が「●」になっている例)

データ管理番号	氏名カナ	氏名漢字	性別	生年月日	年齢	行政区名称	地区名称	県
1	ソトヤマイチタロウ	●山一太郎	男	1955/06/06	53	行政区名称	地区名称	123-4567
2	1002							
3	1003							
4	1004							

(氏名と住所ファイルを読み込みして氏名を補完した例)

データ管理番号	氏名カナ	氏名漢字	性別	生年月日	年齢	行政区名称	地区名称	県
1	ソトヤマイチタロウ	山一太郎	男	1955/06/06	53	行政区名称	地区名称	123-4567
2	1002							

(氏名と住所ファイルの例)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	494001	氏名と住所	20100909	120000						
2	保険者番号	被保険者証記号	被保険者証番号	個人番号	氏名カナ	氏名漢字	住所1	住所2	住所3	
3	494001		10001		1 ソトヤマシタロウ	山一太郎	サンプル町比嘉氏区	1丁目2-3		
4	494001		10002		2 サンプルシロウ	山太郎	サンプル町見浪区	2丁目3-4	佐藤さま方	
5	494001		10003		3 サンプルサブロウ	山三郎	サンプル町喜多区	3丁目45		
6	494001		10004		4 サンプルシロウ	山四詩子	サンプル町武誌区	4丁目5		
7	494001		10005		5 サンプルゴロウ	山五郎	サンプル町細塚区	5丁目6-2		
8	494001		10002		2 サンプルシロウ	山六郎	サンプル町見浪区	6丁目7-8		
9										
10										
11										

氏名と住所ファイルは下記の内容で作成します。

行数	説明				
1 行目	以下の内容を記入します。				
	列	内容		備考	
	1 列目	保険者番号を半角数値で。		先頭の「00」は無くても構いません。	
	2 列目	「氏名と住所」		固定のテキストです。	
	3列目	作成日を 8 桁の半角数値で。 YYYYMMDD		2010年7月1日以降の日付にしてください。(例)20100909	
4列目	作成時刻を 6 桁の数値で。 HHMMSS		「120000」で構いません。		
2 行目	タイトル行を記入します。				
	A	B	C	D	
	保険者番号	被保険者証記号	被保険者証番号	個人番号	
	*				
	E	F	G	H	I
	氏名カナ	氏名漢字	住所1	住所2	住所3
3 行目 ～	タイトル行にあわせて氏名と住所のデータを記入します。1 列目～4 列目は FKAC131 ファイルからコピーすると簡単に作れると思います。				
	列	内容		備考	
	1 列目	保険者番号を。		先頭の「00」は無くても構いません。	
	2 列目	被保険者証記号を。		空白でも構いません。	
	3列目	被保険者証番号を。			
	4列目	個人番号を。			
	5列目	氏名カナを。		空白でも構いません。	
	6列目	補完する氏名データを。		40 文字以内。	
	7列目	補完する住所データを。		40 文字以内。	
	8列目	保管する所書きデータを。		空白でも構いません。40 文字以内。	
9列目	保管する方書きデータを。		空白でも構いません。40 文字以内。		
*					
最終行	1 列目にデータの行数を記入します。 (例)6 人の氏名と住所データを記述したときは「6」と記入します。				

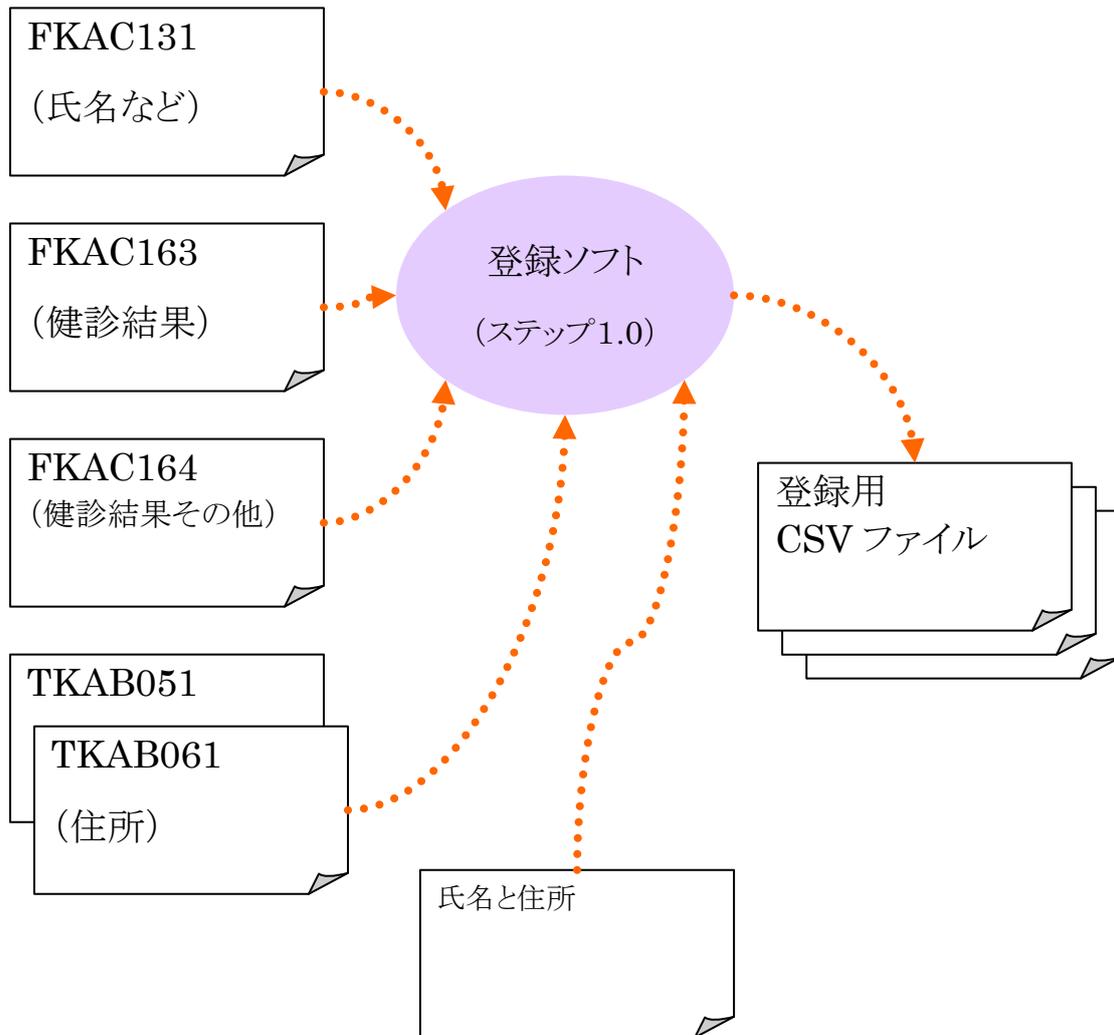
ファイル名はデータ管理システムからダウンロードするファイル名にあわせて、下記のようにします。

- 00990999_氏名と住所_20100909120000_1.csv



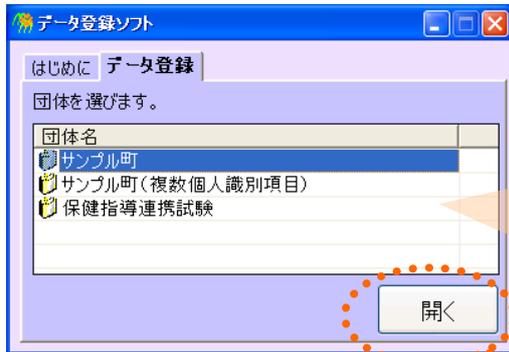
(運用のヒント)

健診受診者全員分の氏名と住所のデータを記入した氏名と住所ファイルを用意しておけば、住所のデータは全員分が補完されるので、TKAB051 と TKAB061 ファイルをダウンロードしなくてもよくなります。



4. 使い方

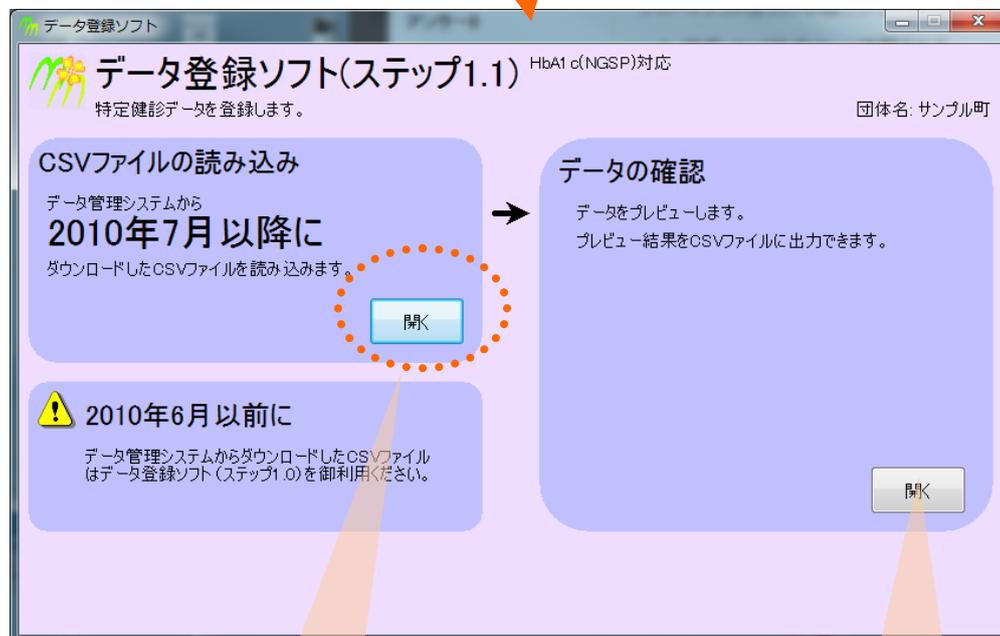
4.1. メイン画面



1

健診結果を登録したい
団体を選びます。

ここで選んだ団体
の健診データと突
合して、新規と重
複を分けます。



2

ダウンロードした CSV
ファイルを開きます。

3

読み込んだファイルをま
とめてひとつの CSV ファ
イルにします。

4.2. CSV ファイルの読み込み画面

健診結果を読み込む画面

タブをクリックすることで、読み込み画面を切り替えできるようになりました。

各ファイルは、複数まとめて読み込むことができます。

「CTRL」キーを押したままファイルをクリックすると、上図のように読み込みたいファイルだけ選択することができます。

読み込みたい先頭のファイルを選択し、「SHIFT」キーを押したまま最後のファイルをクリックすると、その間のファイルをすべて選択できます。

読み込みができたら、確認します。

健診受診者を読み込む画面

データ登録ソフト

CSVファイルの読み込み

ホーム

複数のファイルが選択できます。

健診結果CSVファイル | **健診受診者CSVファイル** | 氏名と住所

FKAC131	TKAB051	TKAB061
読み込み済です	読み込み済です	読み込み済です
読み込む	読み込む	読み込む
ファイル数 1	ファイル数 1	ファイル数 1
保険者番号 12345678	保険者番号 12345678	保険者番号 12345678
ファイル種別 FKAC131	ファイル種別 TKAB051	ファイル種別 TKAB061
作成日時 2011/11/10 13:10:00	作成日時 2011/11/10 21:33:02	作成日時 2011/11/10 21:33:02
100 件	1 件	1 件

読み込みました。

読み込みができたか確認します。 **確認する**

ファイルを開く

ファイルの場所: データ登録試験

以前のファイル

最近使ったファイル

デスクトップ

マイドキュメント

マイコンピュータ

マイネットワーク

ファイル名(N): "12300011_FKAC162_20100319000001_10.csv" *123*

ファイルの種類(T): 利用券情報CSVファイル(*.csv)

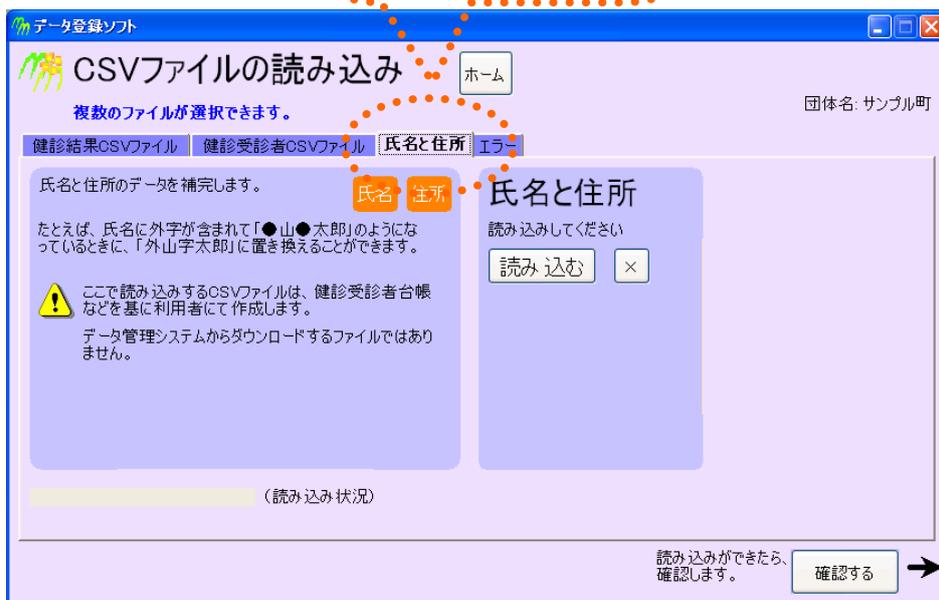
開く(O) キャンセル

「CTRL」キーを押したままファイルをクリックすると、上図のように読み込みたいファイルだけ選択することができます。

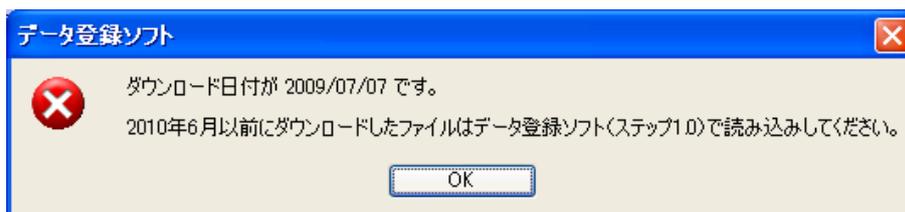
読み込みたい先頭のファイルを選択し、「SHIFT」キーを押したまま最後のファイルをクリックすると、その間のファイルをすべて選択できます。

氏名と住所ファイルを読み込む画面

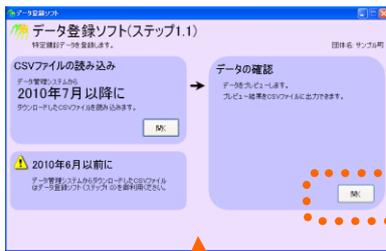
「氏名と住所」タブをクリックします。



2010年6月以前にダウンロードしたCSVファイルを読み込むことはできません。下記のエラーが表示されます。



4.3. データの確認画面



1

画面を開くと、CSV ファイルを横並びにした結果が表示されます。新規分(白色)、重複分(薄緑)、不明分(黄色)と色分けします。

2

「設定」ボタンをクリックすると、設定画面が開きます。(詳しくは次ページに)



3

「CSV 出力」ボタンをクリックすると、CSV ファイルに保存する画面が開きます。

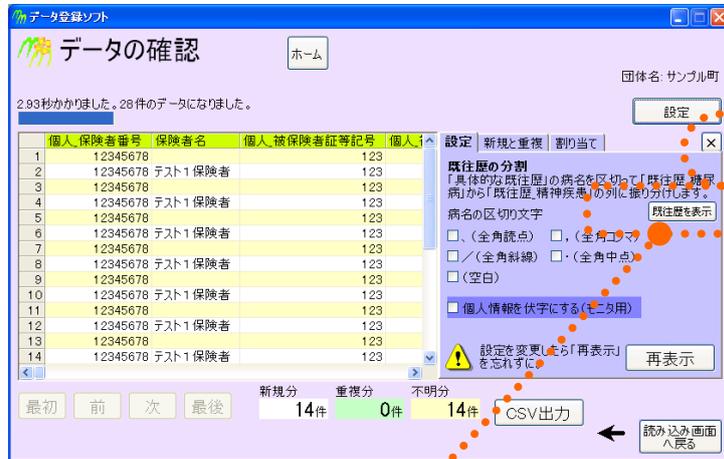


画面の右下にあるボタンをクリックすると、読み込み画面とデータ確認画面を(ホーム画面を經由せずに)直接行き来できます。

4.4. 「横並び設定」画面

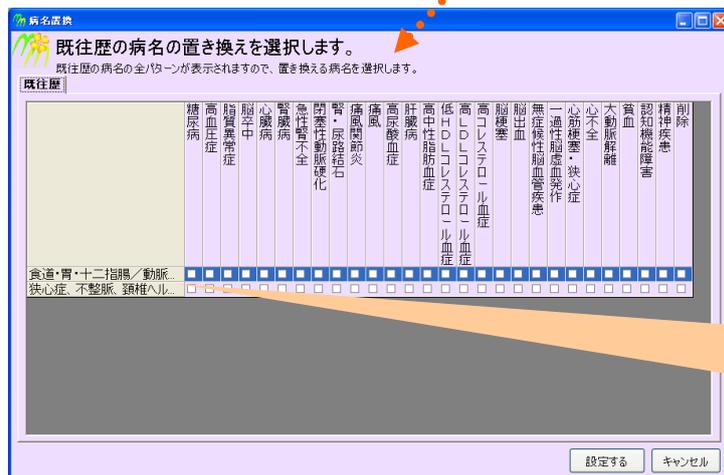
既往歴の病名を分割して列に振り分けする設定を行います。設定は保存されませんので、毎回、設定を行う必要があります(「割り当て」の設定だけは保存されます)。

既往歴の分割



この「X」をクリックすると設定画面は閉じます。

「既往歴を表示」ボタンをクリックすると、病名置換画面を表示します。



病名がつながっているので、分割する必要があります。「キャンセル」をクリックします。



病名の区切り文字にチェックを入れて、「既往歴を表示」ボタンをクリックすると、既往歴の病名が分割されます。

分割の例

「、」と「／」に区切り文字としてチェックをいれると、以下のように分割されます。

既往歴の病名の置き換えを選択します。
既往歴の病名の全パターンが表示されますので、置き換える病名を選択します。

チェックをすることで、「既往歴_XXX」に「1」が設定されます。

1つの病名に対して2個以上の選択が可能です。

該当する病名にチェックをしてください。チェックを、しなければ[既往歴_その他]に文字がコピーされます。「削除」をチェックした場合は[既往歴_その他]へのコピーはしません。

設定する キャンセル



	既往歴_糖尿病	既往歴_高血圧症	既往歴_脂質異常症	既往歴_脳卒中	既往歴_腎臓病
3					
4					

データを確認します

5.02秒かかりました。28件のデータになりました。

設定

既往歴の分割
「具体的な既往歴」の病名を区切って「既往歴_糖尿病」から「既往歴_精神疾患」の列に振り分けします。

病名の区切り文字

、(全角読点) 、(全角コマ)
／(全角斜線) ・(全角中点)
 (空白)

個人情報伏字にする(モロ用)

設定を変更したら「再表示」を忘れずに。

再表示

新規分 14件 重複分 0件 不明分 14件



	既往歴_心筋梗塞・狭心症	既往歴_心不全	既往歴_大動脈解離	既往歴_貧血	既往歴_認知機能障害
3		1			
4		1			

	既往歴_大動脈解離	既往歴_貧血	既往歴_認知機能障害	既往歴_精神疾患	既往歴_その他
3					頸椎ヘルニア、腰椎ヘルニア、破傷風
4					頸椎ヘルニア、腰椎ヘルニア、破傷風

個人情報を伏字にする

チェックすると個人情報
が伏字になります。

数字の1～9 →9

(数字の0はそのまま)

その他の文字 →*

伏字の例

保険者名	個人_被保険者証等記号	個人_被保険者証等番号	個人番号	個人_整理用番号2	個人_名前カナ	個人_姓
3				1234567891		
4 テスト1 保険者	123	2008111000	1102	1234567891	アアツマ	あ



保険者名	個人_被保険者証等記号	個人_被保険者証等番号	個人番号	個人_整理用番号2	個人_名前カナ	個人_姓
1				1234567890		
2 * * * * * *	999	9009999000	9909	1234567890	* * * * *	



設定の変更をした後は、必ず「再表示」ボタンをクリックしてください。「再表示」を行なわないと設定の変更は有効になりません。

新規と重複



「新規と重複」タブを選びます。

新規と重複分を分別するデータ項目を選びます。
個人番号を登録しているときは、「個人番号」を選びます。

「個人番号」、「氏名など」を選んだときには、それぞれ以下のデータ項目を比較して、新規分と重複分を分別します。

設定画面	データ項目	備考
個人番号	個人番号	
氏名など	個人_名前漢字 個人_名前カナ 個人_生年月日 個人_性別	氏名には空白が混じっていても同じ氏名と判断します。 たとえば、 「サンプル 一郎」(空白あり)と 「サンプル一郎」(空白なし)は 同じと見ます。



「氏名など」を選んだ場合は、対象となる項目の選択が可能です。



設定の変更をした後は、必ず「再表示」ボタンをクリックしてください。「再表示」を行なわないと設定の変更は有効になりません。

登録先の割り当て(列名変更)

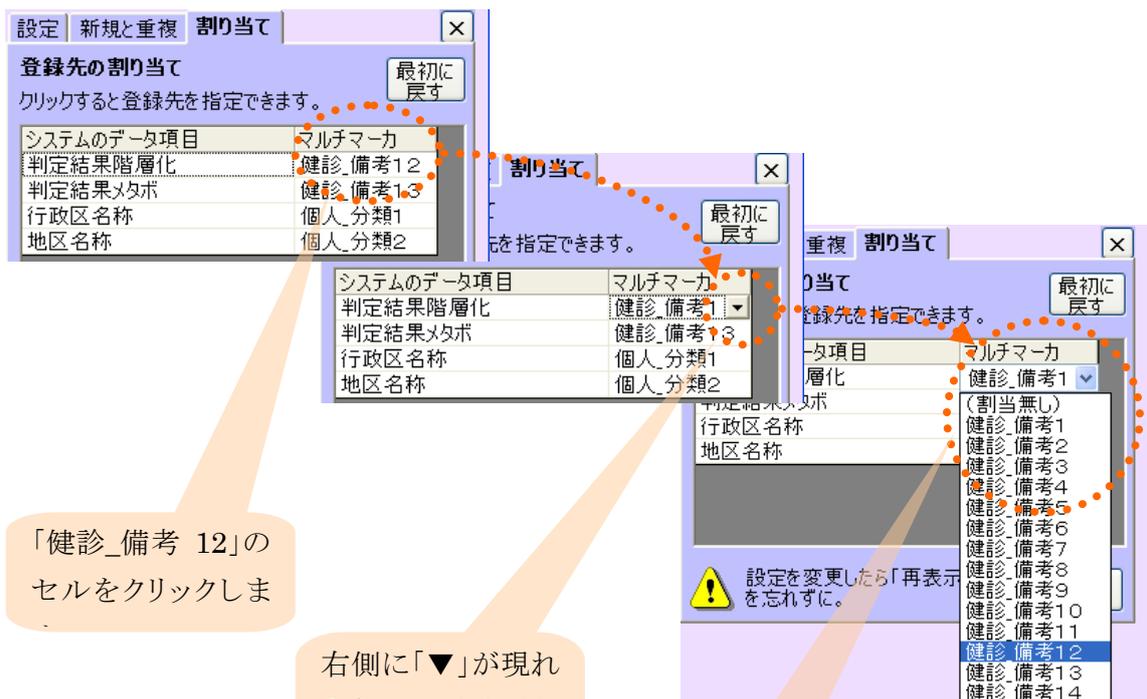


「割り当て」タブを選びます。

右側のセルをクリックすると、登録先の割り当てを変更できます。

データ登録ソフトは、データ管理システムのデータ項目名をマルチマーカ4.0のデータ項目名に自動的にあわせます。たとえば、データ管理システムの「被保険者名漢字」を「個人_名前漢字」という列名にします。

マルチマーカ4.0に無いデータ項目については、この設定画面で「健診_備考12」などを登録先として割り当てることができます。



「健診_備考 12」のセルをクリックします。

右側に「▼」が現れますので、クリックします。

割当先の一覧が表示されますので選びます。

登録先を割り当てできるのは、以下の項目です。

データ管理システム	登録先の初期値	説明
判定結果階層化	備考12	データ管理システムの判定
判定結果メタボ	備考13	データ管理システムの判定
行政区名称	個人_分類1	
地区名称	個人_分類2	



「判定結果階層化」にはデータ管理システムが行なった階層化の結果が入っています。重要なデータですので、できればマルチマーカ-4.0 に取り込みすることをお奨めします。



設定の変更をした後は、必ず「再表示」ボタンをクリックしてください。「再表示」を行なわないと設定の変更は有効になりません。

保存した CSV ファイルをマルチマーカー4.0 の取り込みウィザードで読み込むと、以下のよう
にほとんどのデータ項目が自動的に割り当てられます。



自動的に割り当てられない項目は以下の通りです。必要に応じて取り込みしてください。

- 保険者名
- 保存年月日
- 新規重複
- 端末

問診で取り込む場合に個人識別項目で個人識別として設定されていない項目は自動で割り当てされません。(割り当てる必要もありません)

健診結果のファイル(FKAC163、FKAC164)の内容によって、上記の項目は増えることがあります。



「データ管理番号1」は、マルチマーカー4.0の「個人_整理用番号2」としてCSV出力されますので、自動的に割り当てられます。



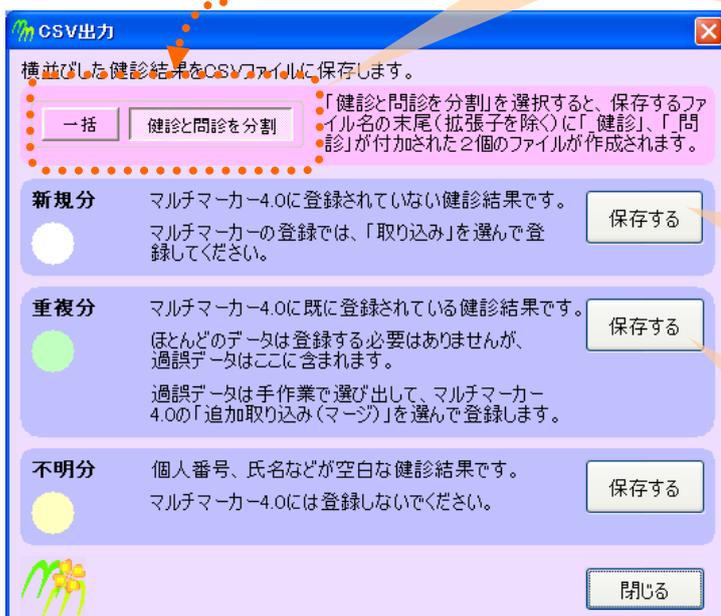
一括で保存した CSV ファイルをマルチマーカー4.0 の取り込みウィザードで読み込むには「健診」と「問診」を、それぞれ実行してください。

※健診では問診項目、問診では健診項目が自動割り当てされずに残ります。

4.5. CSV 出力画面



「一括」は、健診と問診を同じファイルに保存します。「健診と問診を分割」は、保存するファイル名の末尾(拡張子を除く)「_健診」、「_問診」が付加された2個のファイルを保存します。



クリックすると、新規分のデータだけを CSV ファイルに保存します。

クリックすると、重複分のデータだけを CSV ファイルに保存します。

- CSV ファイルは下記のフォルダに保存します(保存先は選択できます)。団体名のところには「サンプル町」のような団体名がはいります。

マイドキュメント¥マルチマーカー4出力¥団体名¥データ登録

- CSV ファイルといっしょに、割り当ての一覧も別の CSV ファイルに保存されます。たとえば、

12345678_FKAC131_20081110131000_001_新規(「_健診」、「_問診」).csv
を保存したときは、

12345678_FKAC131_20081110131000_001_新規_割り当て.csv
というファイルもいっしょに保存されます。

このファイルは、マルチマーカー4.0 に取り込みした後に、「健診_備考12」のデータは何かだったのを忘れてしまったときなどに確認するのに使います。

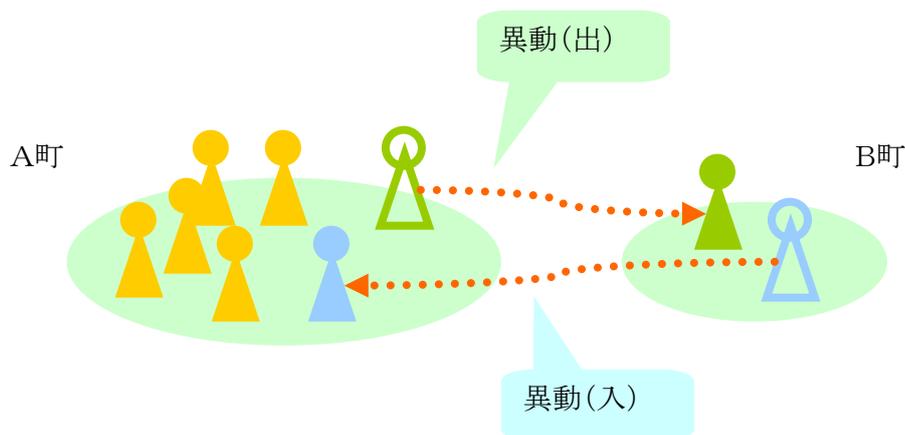


複数ファイルを選択したときは、選択した順番により保存するファイル名の初期表示が、変わる場合があります。

5. 登録用 CSV ファイルの形式

登録ソフトが保存する CSV ファイルは、下表のような形式です。

ここでは、A町という保険者でデータ管理システムからCSVファイルをダウンロードした場合で説明します。「異動(出)」はA町から隣のB町へ転出したことを、「異動(入)」はB町からA町へ転入してきた住民を示します。



種別	列番	列名	種	元ファイル	説明								
個人情報	1	個人_保険者番号	健	FKAC163	健診後の異動により下記の通り。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>データの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異動なし</td> <td>A町の保険者番号</td> </tr> <tr> <td>異動(出)</td> <td>B町の保険者番号</td> </tr> <tr> <td>異動(入)</td> <td>A町の保険者番号</td> </tr> </tbody> </table>	種別	データの内容	異動なし	A町の保険者番号	異動(出)	B町の保険者番号	異動(入)	A町の保険者番号
	種別	データの内容											
	異動なし	A町の保険者番号											
	異動(出)	B町の保険者番号											
	異動(入)	A町の保険者番号											
	2	保険者名	健	FKAC131	健診後の異動により下記の通り。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>データの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異動なし</td> <td>A町の保険者名</td> </tr> <tr> <td>異動(出)</td> <td>(空白)</td> </tr> <tr> <td>異動(入)</td> <td>A町の保険者名</td> </tr> </tbody> </table>	種別	データの内容	異動なし	A町の保険者名	異動(出)	(空白)	異動(入)	A町の保険者名
	種別	データの内容											
異動なし	A町の保険者名												
異動(出)	(空白)												
異動(入)	A町の保険者名												
3	個人_被保険者証等記号	個	FKAC163	健診後の異動により下記の通り。									
4	個人_被保険者証等番号	個	FKAC163	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>データの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異動なし</td> <td>A町でのデータ</td> </tr> <tr> <td>異動(出)</td> <td>(空白)</td> </tr> <tr> <td>異動(入)</td> <td>A町でのデータ</td> </tr> </tbody> </table>	種別	データの内容	異動なし	A町でのデータ	異動(出)	(空白)	異動(入)	A町でのデータ	
種別	データの内容												
異動なし	A町でのデータ												
異動(出)	(空白)												
異動(入)	A町でのデータ												
5	個人番号	個	FKAC163										
6	個人_整理用番号2	個	FKAC163	「データ管理番号1」									
7	個人_名前カナ	個	FKAC131	「氏名カナ」									

種別	列番	列名	種	元ファイル	説明												
	8	個人_名前漢字	個	FKAC131	「被保険者名漢字」												
	9	個人_性別	個	FKAC131	「性別」												
	10	個人_生年月日	個	FKAC131	「生年月日元号」と「生年月日」。西暦の日付に変換。												
	11	個人_年度末年齢	健	FKAC131	「年齢」												
	12	個人_分類1 ※	個	FKAC131	「行政区名称」												
	13	個人_分類2 ※	個	FKAC131	「地区名称」												
	14	個人_郵便番号	健	FKAC131	「郵便番号」												
	15	個人_電話	健	FKAC131	「電話番号」												
	16	健診_備考11 ※	健	FKAC131	<p>「判定結果 A(システムのメタボリックシンドローム判定)」からテキストに変換。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>テキスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>基準該当</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>予備群該当</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>非該当</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>判定不能</td> </tr> </tbody> </table> <p>*</p>	コード	テキスト	1	基準該当	2	予備群該当	3	非該当	4	判定不能		
コード	テキスト																
1	基準該当																
2	予備群該当																
3	非該当																
4	判定不能																
	17	健診_備考12 ※	健	FKAC131	<p>「判定結果 B(システムの保健指導レベル)」からテキストに変換。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>テキスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>判定不能</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>積極的支援</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>動機付け支援</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>服薬のため情報提供</td> </tr> </tbody> </table> <p>*</p>	コード	テキスト	0	判定不能	1	積極的支援	2	動機付け支援	3	情報提供	4	服薬のため情報提供
コード	テキスト																
0	判定不能																
1	積極的支援																
2	動機付け支援																
3	情報提供																
4	服薬のため情報提供																
	18	実施年月日	個	FKAC131	「受診日元号」と「受診日」。西暦の日付に変換。												
	19	健診機関番号	健	FKAC131													
	20	個人_受診券整理番号	健	FKAC163	<p>健診後の異動により下記の通り。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>データの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異動なし</td> <td>「受診券整理番号」</td> </tr> <tr> <td>異動(出)</td> <td>「受診券整理番号」</td> </tr> <tr> <td>異動(入)</td> <td>(空白)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*</p>	種別	データの内容	異動なし	「受診券整理番号」	異動(出)	「受診券整理番号」	異動(入)	(空白)				
種別	データの内容																
異動なし	「受診券整理番号」																
異動(出)	「受診券整理番号」																
異動(入)	(空白)																
	21	個人_利用券整理番号	健	FKAC162	<p>保健指導後の異動により下記の通り。</p>												

種別	列番	列名	種	元ファイル	説明								
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>データの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異動なし</td> <td>「利用券整理番号」</td> </tr> <tr> <td>異動(出)</td> <td>「利用券整理番号」</td> </tr> <tr> <td>異動(入)</td> <td>(空白)</td> </tr> </tbody> </table>	種別	データの内容	異動なし	「利用券整理番号」	異動(出)	「利用券整理番号」	異動(入)	(空白)
種別	データの内容												
異動なし	「利用券整理番号」												
異動(出)	「利用券整理番号」												
異動(入)	(空白)												
	22	住所	健	TKAB051 TKAB061	「住所1」と「住所2」をつなげたもの。								
健診結果	23～	(健診データ)		FKAC163 FKAC164	FKAC163、FKAC164 のファイルに記録されている健診結果の分だけ、健診データを記載します。								
追加		タバコ本数	問	FKAC163	喫煙(質問票08)が「1」なら「1」を。								
他		保存年月日	共	FKAC131	データ管理システムからダウンロードした日付。YYYYMMDD の形式で。								
		新規重複	共		「新規」、「重複」、「不明」。								
		終端	共		「998」または「999」が入っています。								

※設定画面の登録先の割り当て(列名変更)により列名は変わります。

注)列名が変わると、種も変わります。(分類1～3なら「個」、健診_備考1～20なら「健」)

<種の説明>

個=個人識別項目、健=健診、問=問診、共=共通

CSV 保存で「健診と問診に分割」をすると以下の組合せで作成します。

健診=個、健、共

問診=個、問、共

健診結果のデータ項目名の変換(列名の変換)

保存する CSV ファイルの列名を、特定健診で定義された健診項目名のままではなく、マルチマーカー4.0 のデータ項目名にあわせて変換します。

たとえば「 γ -GT(γ -GTP)」という健診項目名をそのまま列名とはせず、「 γ -GT」に変換して列名とします。

健診項目名	種	列名	備考
身長	健	(そのまま)	
体重	健	(そのまま)	
BMI	健	(そのまま)	
内臓脂肪面積	健	(そのまま)	
腹囲(実測)	健	腹囲	実測→自己判定→自己申告の順にデータの有無を調べて、最初に見つかったデータを保存します。
腹囲(自己判定)			
腹囲(自己申告)			
既往歴	健	(そのまま)	
具体的な既往歴	健	(そのまま)	病名変換で対応付けた「既往歴_糖尿病」～「既往歴_その他」に設定します。 対応設定項目は、種が[問]になります。
自覚症状	健	(そのまま)	
自覚症状所見	健	(そのまま)	
他覚症状	健	(そのまま)	
他覚所見	健	他覚症状所見	
その他(家族歴等)	問	家族歴_その他	全角、半角40文字まで
収縮期血圧(その他)	健	収縮期血圧その他	
収縮期血圧(2回目)	健	収縮期血圧2	
収縮期血圧(1回目)	健	収縮期血圧1	
拡張期血圧(その他)	健	拡張期血圧その他	
拡張期血圧(2回目)	健	拡張期血圧2	
拡張期血圧(1回目)	健	拡張期血圧1	
採血時間(食後)	健	(そのまま)	コード表(29 ページ)を参照
総コレステロール	健	(そのまま)	
中性脂肪(トリグリセリド)	健	中性脂肪	
HDL コレステロール	健	(そのまま)	
LDL コレステロール	健	(そのまま)	
GOT(AST)	健	AST	
GPT(ALT)	健	ALT	
γ -GT(γ -GTP)	健	γ -GT	

健診項目名	種	列名	備考										
血清クレアチニン	健	(そのまま)											
血清尿酸	健	(そのまま)											
空腹時血糖	健	(そのまま)											
随時血糖	健	(そのまま)											
HbA1c	健	(そのまま)											
尿糖	健	(そのまま)	コード表(29 ページ)を参照										
尿蛋白	健	(そのまま)	コード表(29 ページ)を参照										
尿潜血	健	(そのまま)	コード表(29 ページ)を参照										
ヘマトクリット値	健	(そのまま)											
血色素量(ヘモグロビン値)	健	血色素量											
赤血球数	健	(そのまま)											
白血球数	健	(そのまま)											
血小板数	健	(そのまま)											
心電図(所見の有無)	健	心電図所見の有無	コード表(29 ページ)を参照										
心電図(所見の有無)	健	心電図判定	心電図(所見の有無)に対応するコード表(29 ページ)の説明を設定します。										
心電図所見	健	心電図所見1											
眼底検査(キースワグナー分類)	健	眼底検査_キースワグナー分類	コード表(29 ページ)を参照										
眼底検査(シェイエ分類:H)	健	眼底検査_シェイエ分類 H	コード表(29 ページ)を参照										
眼底検査(シェイエ分類:S)	健	眼底検査_シェイエ分類S	コード表(29 ページ)を参照										
眼底検査(SCOTT 分類)	健	眼底検査_ SCOTT 分類	コード表(29 ページ)を参照										
眼底検査(その他の所見)	健	眼底検査_その他の所見											
眼底検査実施理由	健	眼底検査_実施理由											
メタボリックシンドローム判定	健	(そのまま)	コードを設定します。 <table border="1" data-bbox="1011 1713 1342 1960"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>テキスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>基準該当</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>予備群該当</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>非該当</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>判定不能</td> </tr> </tbody> </table>	コード	テキスト	1	基準該当	2	予備群該当	3	非該当	4	判定不能
コード	テキスト												
1	基準該当												
2	予備群該当												
3	非該当												
4	判定不能												

健診項目名	種	列名	備考										
保健指導レベル	健	(そのまま)	コードを設定します。										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>テキスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>積極的支援</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>動機付け支援</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>判定不能</td> </tr> </tbody> </table>	コード	テキスト	1	積極的支援	2	動機付け支援	3	情報提供	4	判定不能
			コード	テキスト									
			1	積極的支援									
			2	動機付け支援									
3	情報提供												
4	判定不能												
17 列目の「判定結果階層化」のコード表と異なります。													
医師の診断(判定)	健	医師の診断											
医師の診断(判定)	健	健診_医師名	医師の診断(判定)の「判断医師氏名」を設定します。										
健康診断を実施した医師の氏名	健	健診_医師名	医師の診断(判定)の「判断医師氏名」に値がある、かつ健康診断を実施した医師の氏名の両方がある場合は、医師の診断(判定)の「判断医師氏名」が優先されます。										
服薬 1(血圧)	問	服薬1_血圧	質問票01										
服薬 1(血圧)(薬剤名)	問	服薬1_血圧_薬剤											
服薬 1(血圧)(実施理由)	問	服薬1_血圧_服薬理由											
服薬 2(血糖)	問	服薬2_血糖	質問票02										
服薬 2(血糖)(薬剤名)	問	服薬2_血糖_薬剤											
服薬 2(血糖)(実施理由)	問	服薬2_血糖_服薬理由											
服薬 3(脂質)	問	服薬3_脂質	質問票03										
服薬 3(脂質)(薬剤名)	問	服薬3_脂質_薬剤											
服薬 3(脂質)(実施理由)	問	服薬3_脂質_服薬理由											
既往歴 1(脳血管)	問	既往歴1_脳血管	質問票04										
既往歴 2(心臓血管)	問	既往歴2_心臓血管	質問票05										
既往歴 3(腎不全・人工透析)	問	既往歴3_腎不全	質問票06										
貧血	問	(そのまま)	質問票07										
喫煙	問	(そのまま)	質問票08										
20 歳からの体重変化	問	(そのまま)	質問票09										
30 分以上の運動習慣	問	(そのまま)	質問票10										
歩行又は身体活動	問	歩行または身体活	質問票11										

健診項目名	種	列名	備考
		動	
歩行速度	問	(そのまま)	質問票12
1年間の体重変化	問	(そのまま)	質問票13
食べ方 1(早食い等)	問	食べ方1_早食い	質問票14
食べ方 2(就寝前)	問	食べ方2_就寝前	質問票15
食べ方 3(夜食/間食)	問	食べ方3_夜食	質問票16
食習慣	問	(そのまま)	質問票17
飲酒	問	(そのまま)	質問票18
飲酒量	問	(そのまま)	質問票19
睡眠	問	(そのまま)	質問票20
生活習慣の改善	問	(そのまま)	質問票21
保健指導の希望	問	保健指導の意識	質問票22

<種の説明>

個=個人識別項目、健=健診、問=問診、共=共通

CSV保存で「健診と問診に分割」をすると以下の組合せで作成します。

健診=個、健、共

問診=個、問、共

コード表

FKAC163、FKAC164 のファイルでは一部の健診結果がコード化されて記録されています(たとえば、尿糖の「+」は「3」というコードで記録されています)。

登録ソフトは、これらのコードをそのまま使用します。

健診項目	コード	説明
尿糖、尿蛋白、尿潜血	1	—
	2	±
	3	+
	4	++
	5	+++
眼底検査(シェイエ分類:H)、眼底検査(シェイエ分類:S)	1	0
	2	1
	3	2
	4	3
	5	4
眼底検査(SCOTT 分類)	1	I (a)
	2	I (b)
	3	II
	4	III (a)
	5	III (b)
	6	IV
	7	V (a)
	8	V (b)
	9	VI
眼底検査(キースワグナー分類)	1	0
	2	I
	3	II a
	4	II b
	5	III
	6	IV
採血時間(食後)	1	「食後 10 時間未満」
	2	「食後 10 時間以上」
心電図(所見の有無)	1	所見あり
	2	所見なし

6. 今後の計画及び改訂履歴

以下の課題があります。

課題	対応状況	済
FKAC163 の件数が多いと読み込みに時間がかかります。	しばらくは機能改善を優先しますので速度改善は後回しになりますが、いずれ改善したいと思います。	
氏名漢字に外字があるとき「●」になっている。	氏名と住所ファイルの読み込みで外字を変換する機能を追加しました。	○

- 各種の Windows、Word、Excel、Internet Explorer はマイクロソフト社の登録商標です。
- その他のプログラム名、ソフトウェア名、システム名、製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本書では、®マーク、™マークは省略しています。また一般的に使われている名称を用いている場合があります。

データ登録ソフトをつかってみよう
(マルチマーカーパーソナル版 4.0 対応)

初版	2010年4月
改訂	2013年6月
発行	株式会社ウエルクル

- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写・複製することは禁じられています。
- Copyright 株式会社ウエルクル